

事務事業評価資料

施策名	中小企業の経営革新と新産業・新事業創出の促進		所管部局課名	産業労働部産業振興局経営商業課					
事業名	ひょうご中小企業技術評価制度		担当者電話番号	金融企画担当 078-362-9177					
事業目的	技術力等を有しているが、物的担保・人的担保が不足している中小企業者等の技術力等を評価し、円滑な資金供給に資する。								
事業内容	技術評価の実施 実施手法：(財)ひょうご産業活性化センター補助、 評価対象者：県内中小企業者、 利用者(申込者)：県内中小企業者及び県内金融機			事業開始年度	平成17年度				
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額			
	事業費	(13,710 千円) 13,710 千円		(12,110 千円) 12,110 千円		(12,110 千円) 12,110 千円			
	人件費	847 千円	従事人員 0.1人	836 千円	従事人員 0.1人	820 千円 従事人員 0.1人			
	総コスト (+)	14,557 千円	従事人員 0.1人	12,946 千円	従事人員 0.1人	12,930 千円 従事人員 0.1人			
事業の目標	評価件数150件			[目標設定理由] ・企業ニーズに対応できるだけの評価件数維持を目標としている ・毎年度ニーズを踏まえて目標件数を見直す					
	融資約定件数100件			[目標設定理由] ・融資以外の目的で技術評価を受ける企業もあること、過去の融資約定件数と評価件数の実績を参考に目標件数を設定している。					
	融資約定金額10億円			[目標設定理由] ・融資約定目標件数と制度融資の平均融資額を参考に目標額を設定している。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	評価件数(件)	150	21年度	101 (144 千円)	132 (98 千円)	150 (86 千円)	67%	88%	100%
	融資約定件数(件)	100	21年度	92 (158 千円)	50 (259 千円)	100 (129 千円)	92%	50%	100%
融資約定金額(千円)	1,000,000	毎年度	2,191,000 (0.01 千円)	1,000,000 (0.01 千円)	1,000,000 (0.01 千円)	219%	100%	100%	
評価結果	必要性	・中小企業の資金供給を民間金融機関の評価にのみ任じた場合、人的物的担保評価に頼り、資金供給不足や高金利による経営圧迫を引き起こすおそれがある。 ・このため、中小企業の技術力・成長性を公的機関が客観的に評価することにより中小企業への資金供給を図る必要がある。							
	有効性	・毎年100件を超える件数の評価を実施しており、中小企業のニーズに有効にはたらいっている。 ・融資約定金額は目標値を達成していることから、事業は有効に実施され、着実に成果が上がっている。							
	効率性	・評価件数1件あたりのコストはH20年度に比べて減少してきており、効率的な事業実施が図られている。							
	民間・市町との役割分担	・民間金融機関では物的担保・人的担保評価が主流であるため、公的機関での実施を行っている。 ・今後、民間ベースで技術評価を行うことが定着すれば、県の関与は縮小する。 ・専門性が高いことから、市町との役割分担にはなじまないと考える。							
	受益と負担の適正化	・人件費等を除く1件あたりの評価費用のうち半額を、申込者が負担しており、適正化を図っている。							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し				
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	一定の実績を挙げていること、利用企業や金融機関からも制度の有効性が評価されていること、実施方法についても不効率・不適切なものではないことから、現行どおり継続する。								